

# 3月 定例会

regular meeting

平成21年度

堅実

前年度

## 一般会計 45億

平成21年3月定例会は、平成21年度一般会計予算、特別会計予算については、3つの特別委員会を設置し、ほか補正予算、条例制定や指定管理者の指定など27議案について、慎重に審議した結果、いずれも可決しました。

町の最重点事業である有機資源循環第2期事業や図書・文化等新規事業に着手!!

### 歳入

科目	予算額	前年対比
町税	13億1289万円	△3.4%
地方交付税	12億1000万円	7.8%
借入金	4億6900万円	50.2%
県支出金	5億4991万円	70.8%
国庫支出金	2億2397万円	△22.6%
その他	7億7923万円	27.2%
合計	45億4500万円	9.0%

(注) △はマイナス

### 主な内容

- ① 地方交付税
  - ・国によって地方は閉塞しているとの認識から1兆円上積みされたことを受け8800万円の増を見込む
- ② 県支出金
  - ・地域バイオマス利活用交付金 ..... 6276万円
  - ・道の駅事業委託金 ..... 1億2989万円
  - ・図書文化等拠点施設整備事業による福祉のまちづくり支援事業費補助金 ..... 4994万円
  - ・活力ある高収益型園芸産地育成事業補助金 ..... 2861万円
- ③ 基金を2億1千万円取り崩す
  - ・財政調整基金・減債基金・公共施設整備基金から各5000万円
  - ・図書・文化等拠点施設整備事業にあてる芸術文化振興基金から6000万円
- ④ 借入金(町債)
  - ・図書・文化等拠点施設整備事業債 ..... 1億8530万円

し、また、夏場の作業対策、健康管理には万全を期されたい。

■ 自歩道等安全面での環境整備が十分でない状況の中で、中学校自転車通学者のヘルメット助成廃止が決定されたことについて、交通安全教育推進・生徒の安全確保等に配慮すべきではないか。

■ 民具の公開場所についての検討と、町が保管している郷土の芸術家の作品展示についても、きちんと公開できるよう具体的な方法の検討をされたい。

■ 図書文化施設の運営面において、公民館とまちづくりセンターの二元化を図る上で、開館準備委員会において検討中ということではあるが、地区公民館の活動支援について具体的にその考え方を示されたい。

■ 学校教育においては、児童・生徒の学力向上と豊かな心、健やかな体の育成を図るための諸施策の推進に努めるとともに、社会教育については多様化した住民ニーズを的確に把握し、効果的な事業計画、運営に努め、社会教育のより一層の推進を図られたい。

■ 木佐木校区学童保育所の現地視察をし、施設周辺部分については、出入り口のスロープ部分の段差、及び施設北側と西側の土留めなどについて配慮が必要ではないかと指摘する。

■ 健康福祉課は、住民への福祉サービス業務の大切なポジションであるから、これからの事業の効果的な運営に取り組み、住民福祉向上のために一層の努力をされたい。

### 第3予算審査特別委員会(建設経済常任委員会)

#### 審査報告(概要)

委員長 中島 藤美  
副委員長 菰方 重義  
委員 近藤 純久  
中ノ森 慎一

■ 野菜等地産地消推進モデル事業は、くるるんの2期事業で整備予定の農産物直売所、農家レストランへ出荷される野菜等の生産振興を図ることを目的に実施され、露地野菜の生産、合鴨米の生産にかかる生産資材へ一定の補助を実施することであり、直売所等の成功に向け積極的な推進をお願いする。

■ 農業、商工業の振興・活性化及びクリーク、道路等住環境の改善を図り、大木町の発展につながるものであり、財政的に厳しい中、最小限の費用で最大の効果を発揮するよう強く要望する。

■ クリーク防災事業、水路の工事及び町道路線の認定がなされた箇所の現地調査を行った。